

第 2 期 決算資料

2018 年 10 月～2019 年 3 月 （12 か月間）

（当期の概況）

第 2 期は、2018 年 4 月から、2019 年 3 月までの 12 か月間にて決算を行った。

期間中の総費用は、11,021,118 円となった。うち、事業費が 2,629,466 円、事務費が 8,391,652 円であった。

" 事業費としては、フォーラム開催費用、ならびにドローン事業の経費を計上した。

フォーラム開催費用は、2018 年 4 月に開催した、「航空宇宙ビジネスフォーラム」に関する講師謝金、会場借料、運営委託費用等を計上している。

ドローン事業は、物流プロジェクトに関連した六口島での社会実験費用、真備町での定点撮影費用を計上している。"

事務費としては、事務局人件費、設備費（テレビ会議システム）、旅費交通費などが計上されてる。ロケット最中については MASC オリジナルのお菓子として金型を製造し、栄堂にて商品化され、東京でのフォーラムや、航空宇宙産業推進協議会の会合、ドローンスクールの開講式などで配布されている。

なお、仮受金に計上されている 163 万円は、一般財団法人岡山県青年館からの申し出により、移動型のプラネタリウムに使用する「エアドーム」購入費用の寄付金として、特別協賛があったものであるが、事務手続き上、執行されないまま年度末を迎えたため、仮受金として計上したものである。

これらの費用は特別協賛金にて賄われており、月次の積算により、当該の費用が拠出されている。

なお、本年度は、受託事業（ドローンでの撮影業務）が 1 件あったため、剰余金が 47,557 円計上されており、前期からの繰越金 29,353 円とあわせて、76,910 円が、本年度の繰越（純資産）となった。

（次期の見込み）

第 3 期の事業計画として、ドローン部会の更なる事業展開のほか、航空機部会での先進地視察等が計画されるほか、組織全体の活動として、フォーラム開催等が計画されており、そのための費用が見込まれる。

事務費としては、事務局の活動工数の増加によって人件費の増額が見込まれるほか、月次の家賃等の定常的な事務局運営費を要するものである。

MASC第2期（2018年度）							
貸借対照表						2019年3月31日現在	
資産の部			負債の部				
【流動資産】	2,541,450		【流動負債】	2,464,540			
現金	432		未払金	0			
預金	1,806,146		未払い経費	834,540			
売掛金	0		仮受金	1,630,000			
仮払金	0		買掛金	0			
未収金	734,872		短期借入金	0			
【固定資産】	0		【固定負債】	0			
土地建物	0		長期借入金	0			
ソフトウェア	0						
保証金	0		負債の部合計	<u>2,464,540</u>			
【繰延資産】	0		純資産の部				
権利金	0		設立準備金	29,353			
創立費	0		収支余剰金	47,557			
			純資産の部合計	<u>76,910</u>			
資産の部合計	<u>2,541,450</u>		負債及び純資産の部合計	<u>2,541,450</u>			

MASC第2期（2018年度）		
収支計算書		2019年3月31日現在
【収入の部】		
	特別協賛金	8,977,834
	フォーラム協賛金	1,884,536
	会費	0
	受託事業収入	206,305
	収入の部合計	11,068,675
【支出の部】		
・事業費		2,629,466
	ドローン事業	668,907
	フォーラム開催	1,884,536
	受託事業経費	76,023
・事務費		8,391,652
	事務局人件費	4,445,688
	事務局家賃	388,800
	事務所経費	259,200
	消耗品費	17,182
	印刷費	53,728
	広告宣伝費	0
	旅費交通費	458,400
	雑役務費	0
	新聞図書費	49,686
	設備費	2,315,520
	会議費	16,000
	ロケット最中	308,700
	寄付金	0
	その他	70,000
	振込手数料	8,748
	支出の部合計	11,021,118
収支合計（収支剰余金）		47,557

2019 年 4 月 17 日

岡山県倉敷市水島地域への航空宇宙産業
クラスターの実現に向けた研究会（略称：MASC）
理事長 桐野宏司 殿

監 査 報 告 書

MASC の第 2 期（2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで）の業務並びに会計の監査を行った結果、次のとおり報告します。

記

1. 監査の方法の概要

- ① 業務監査について、運営委員会等に随時出席し、理事・事務局から業務の報告を聴取し、関係書類など必要と思われる資料の閲覧により業務執行の妥当性を検討しました。
- ② 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧により会計報告書の正確性を検討しました。

2. 監査結果

- ① 事業内容は適正であり、理事・事務局の職務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実はないことを認めます。
- ② 収支計算書、貸借対照表は、帳票等の記載金額と一致し、団体の収支および財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

MASC 監事

坂本万明 印